

2024年3月期決算説明会

2024年5月13日

 日本カーバイド工業株式会社



2024年3月期決算の概要



サマリー【連結損益計算書】

- 電子・機能製品事業は、一昨年後半からのエレクトロニクス市況低迷により、半導体及び電子部品向け製品の出荷が減少
- フィルム・シート製品事業は、欧米や中国での自動車販売台数の回復により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加
- 建材関連事業は、原材料価格の上昇に応じた価格改定などにより、収支が改善
- エンジニアリング事業は、受注の減少や完工遅れにより、売上が減少
- 以上の結果、前期比**減収減益**
- 当期純利益は、フィルム・シート製品事業における固定資産の減損損失計上も、特許権侵害行為に対する損害賠償請求の控訴審判決に関連した特別利益の計上もあり、**増益**

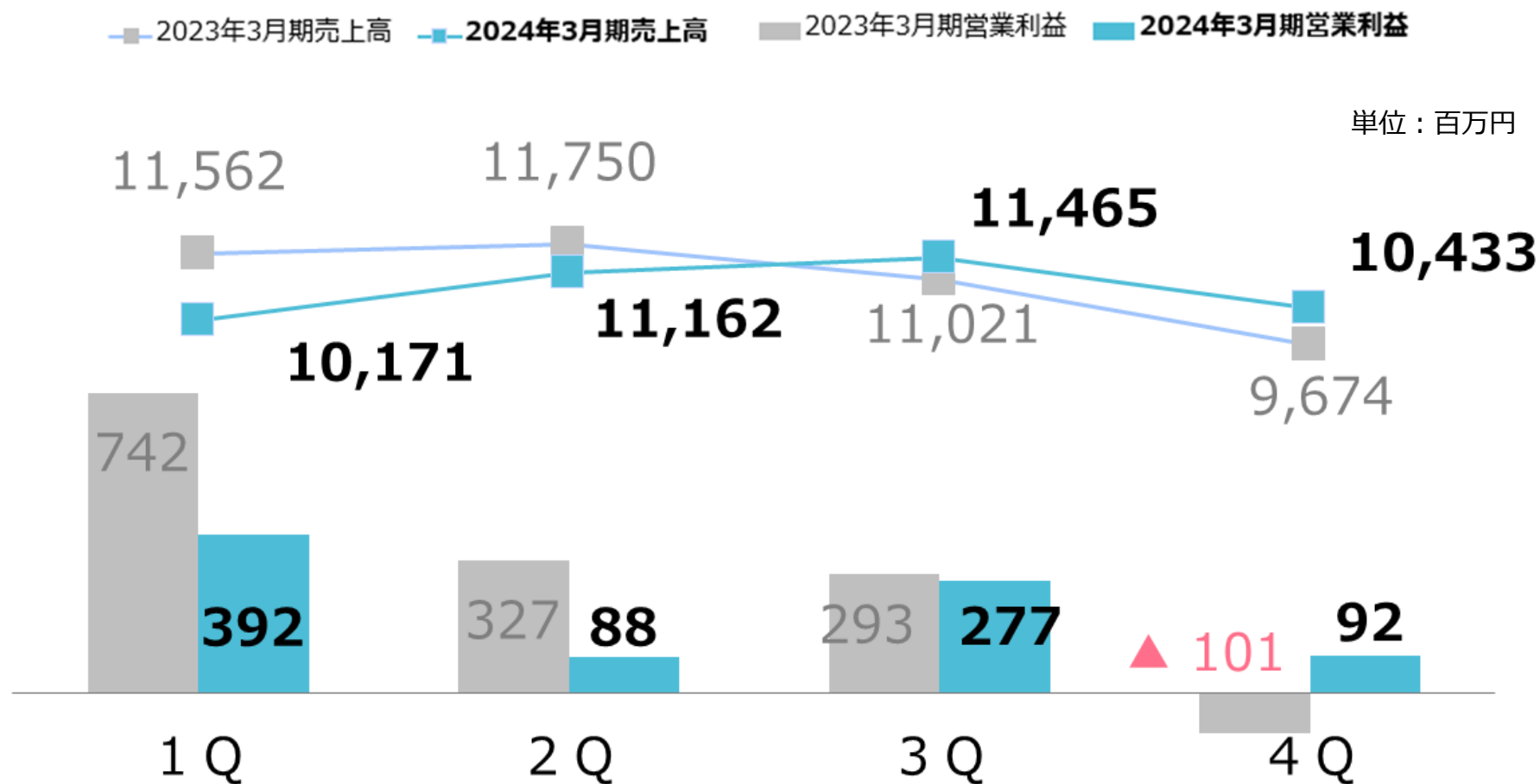
単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	44,008	43,231	▲ 777	▲ 1.8%
営業利益	1,261	849	▲ 412	▲ 32.7%
営業利益率	2.9%	2.0%	—	▲ 0.9ポイント
経常利益	1,902	1,573	▲ 329	▲ 17.3%
当期純利益	332	999	667	+200.8%



四半期業績トレンド

- 売上高は1 Q／2 Qは前年同期比減収だったものの、3 Q／4 Qは増収
- 営業利益は3 Qまで前年同期比減益、4 Qは増益

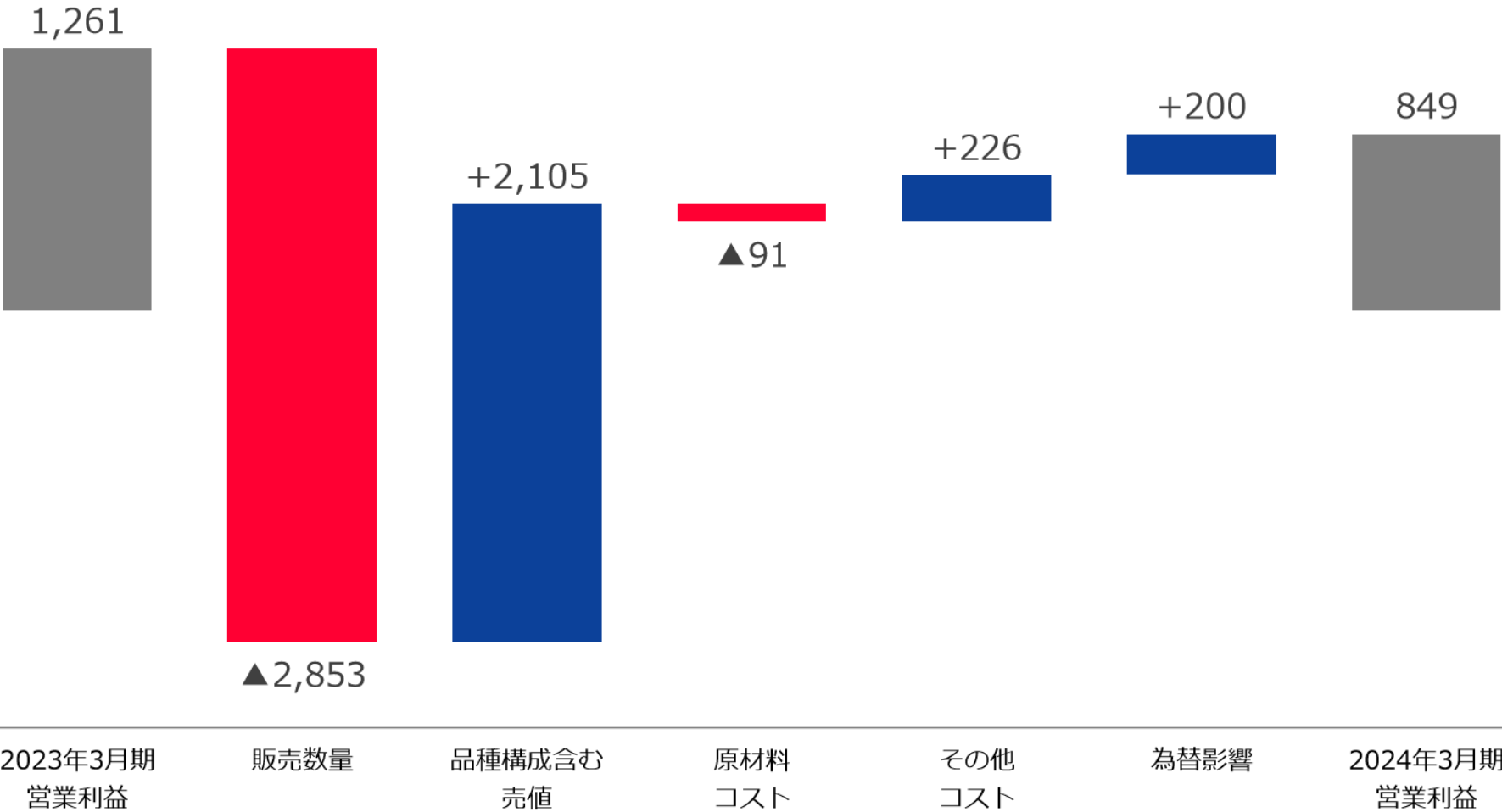


営業利益増減要因分析 2023年3月期v.s.2024年3月期



前期比 412百万円減益

単位：百万円



セグメント別業績



単位：百万円

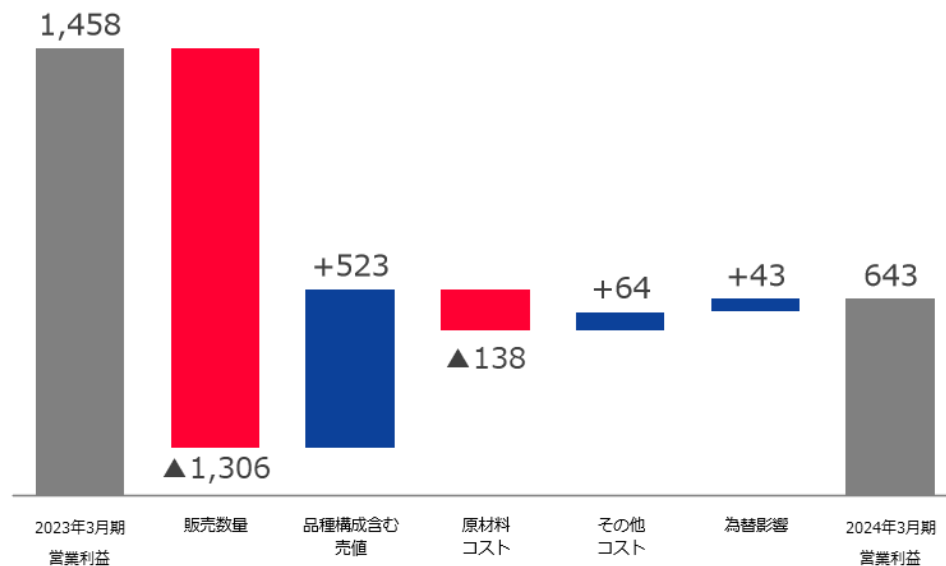
		2023年3月期	2024年3月期	前期比	
		実績	実績	増減額	増減比
電子・機能製品	売上高	18,128	16,545	▲ 1,582	▲8.7%
	営業利益	1,458	643	▲ 815	▲55.9%
フィルム・シート製品	売上高	16,603	17,498	895	+5.4%
	営業利益	143	655	512	+357.1%
建材関連	売上高	7,589	7,112	▲ 476	▲6.3%
	営業利益	258	272	13	+5.4%
エンジニアリング	売上高	5,084	2,491	▲ 2,593	▲51.0%
	営業利益	52	▲ 136	▲ 188	-
連結調整	売上高	▲ 3,396	▲ 416	2,980	-
	営業利益	▲ 653	▲ 586	67	-
連結合計	売上高	44,008	43,231	▲ 777	▲1.8%
	営業利益	1,261	849	▲ 412	▲32.7%

セグメント別状況 電子・機能製品事業



単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	18,128	16,545	▲ 1,582	▲ 8.7%
機能化学品	3,603	2,913	▲ 690	▲ 19.2%
機能樹脂	8,340	8,290	▲ 50	▲ 0.6%
電子素材	6,184	5,341	▲ 843	▲ 13.6%
調整	0	0	-	-
営業利益	1,458	643	▲ 815	▲ 55.9%



機能化学品 減収減益

- 一昨年後半からのエレクトロニクス市況低迷により、半導体及び電子部品向け製品の出荷が減少

機能樹脂 減収増益

- 一昨年後半からのエレクトロニクス市況低迷により、電子部品向け製品の出荷が減少
- + 原材料価格の上昇に応じた価格改定による、損益へのプラス影響

電子素材 減収減益

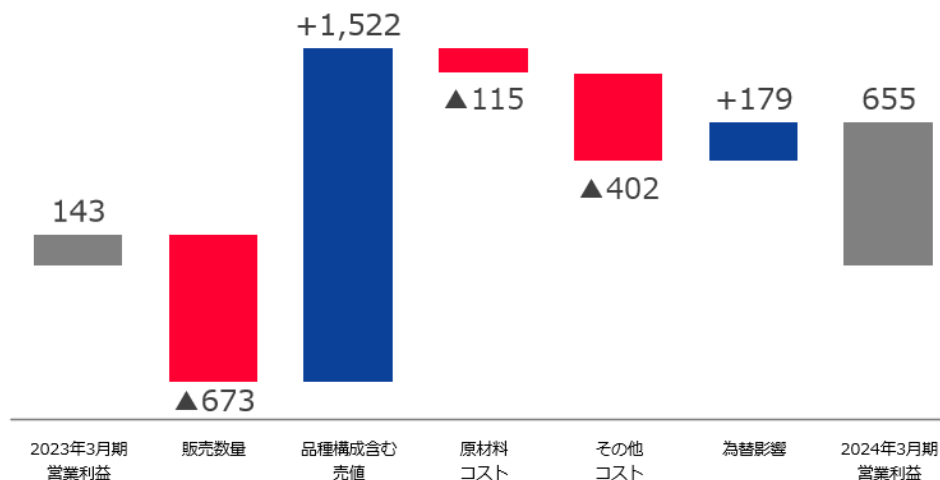
- パソコンやサーバー、通信機器などの電子部品向け高付加価値品の出荷が減少
- 一昨年後半からのエレクトロニクス市況低迷により、半導体用金型クリーニング材の出荷が減少

セグメント別状況 フィルム・シート製品事業



単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	16,603	17,498	895	+5.4%
フィルム	1,445	1,330	▲ 115	▲ 8.0%
ステッカー	6,269	6,515	246	+3.9%
再帰反射シート	8,888	9,652	764	+8.6%
調整	1	0	-	-
営業利益	143	655	512	+357.1%



フィルム 減収減益

- 世界的な自動車生産台数は回復も流通在庫の消化が遅れており、自動車向け製品の出荷が減少

ステッカー 増収減益

- + ブラジルとインドネシアでの二輪車生産台数の増加により、二輪車向け製品の出荷が増加
- ベトナムでの二輪車生産台数の減少により、二輪車向け3Dエンブレムの出荷が減少

再帰反射シート 増収増益

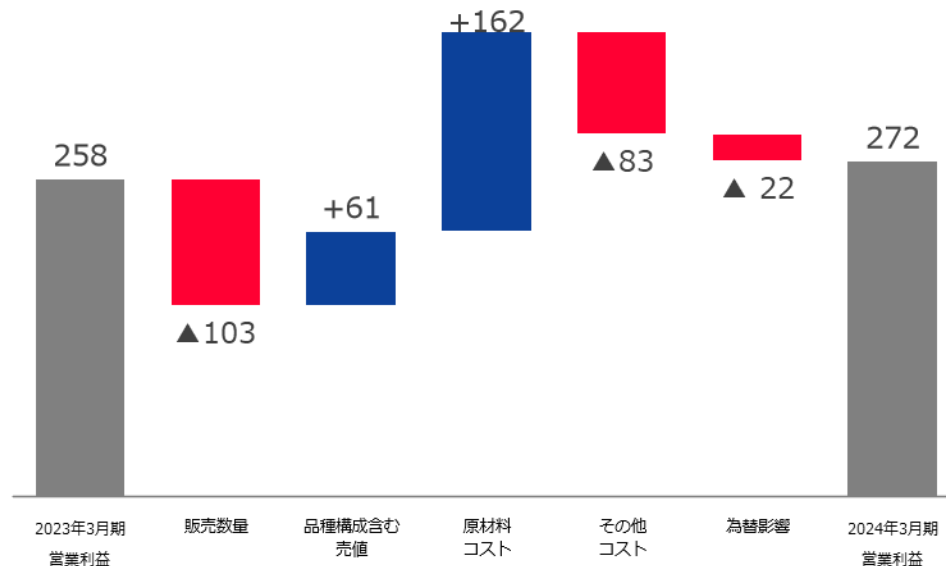
- + 欧米や中国での自動車販売台数の回復により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加

セグメント別状況 建材関連事業



単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	7,589	7,112	▲ 476	▲6.3%
営業利益	258	272	13	+5.4%



減収増益

- 住宅着工戸数の減少により、アルミ建材の売上が減少
- + 原材料価格の上昇に応じた価格改定などによる、損益へのプラス影響

セグメント別状況 エンジニアリング事業



単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	5,084	2,491	▲ 2,593	▲51.0%
営業利益	52	▲ 136	▲ 188	-

減収減益

- － グループ会社向け工事案件の減少により、売上が減少
- － 製鉄分野向け工事案件の完工遅れにより、売上が減少

【サマリー】 連結貸借対照表



単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前期末比
現金及び預金	10,906	13,442	2,536
売上債権	12,211	12,526	314
棚卸資産	9,955	9,368	▲ 586
有形固定資産・無形固定資産	26,293	24,004	▲ 2,289
その他	2,473	1,680	▲ 793
資産合計	61,838	61,020	▲ 817
有利子負債	11,861	11,491	▲ 369
仕入債務	5,912	5,537	▲ 375
その他	10,978	9,368	▲ 1,610
負債の部	28,751	26,396	▲ 2,355
株主資本	23,789	23,996	206
その他の包括利益累計額	7,441	8,634	1,192
非支配株主持分	1,854	1,992	138
純資産の部	33,086	34,623	1,537
負債及び資本合計	61,838	61,020	▲ 817
D/Eレシオ	0.38	0.35	▲ 0.03
自己資本	31,231	32,630	1,399
自己資本比率	50.5%	53.5%	3.0ポイント

連結キャッシュフロー計算書



フリーキャッシュフローは2,935百万円

単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前期比
税金等調整前当期純利益	1,221	1,797	576
減価償却費	1,991	2,014	22
運転収支	791	422	▲ 369
その他	▲ 397	1,140	1,537
営業活動によるキャッシュフロー	3,606	5,373	1,766
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,147	▲ 2,437	▲ 289
フリーキャッシュフロー	1,458	2,935	1,477
借入金の増減額	▲ 2,508	▲ 303	2,205
配当金の支払額	▲ 563	▲ 611	▲ 47
その他	▲ 144	▲ 350	▲ 206
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 3,215	▲ 1,264	1,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	740	564	▲ 175
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,016	2,235	3,251
現金及び現金同等物の期末残高	9,821	12,057	2,235



設備投資・減価償却・研究開発

エレクトロニクス戦略市場を中心とした事業環境の変化に合わせ、設備投資計画の見直しを実施し、前期比1,857百万円減少

単位：百万円

設備投資額	2023年3月期	2024年3月期	前期比
設備投資額	3,181	1,324	▲ 1,857
電子・機能製品	735	320	▲ 415
フィルム・シート製品	2,458	755	▲ 1,703
建材関連	65	40	▲ 25
エンジニアリング	26	30	4
共通・調整	▲ 103	177	280
減価償却費	1,991	2,014	23
電子・機能製品	746	718	▲ 27
フィルム・シート製品	619	692	73
建材関連	126	112	▲ 13
エンジニアリング	55	56	1
共通・調整	444	434	▲ 10
研究開発費	2,106	2,113	7

主な設備投資案件

- 研究開発試験設備の導入
- DX推進のための研究基幹システム導入
- エンジニアリング事業向け分析装置の更新

※設備投資額は、設備等が検収された時点
を以て資産計上された金額。投資活動による
キャッシュフローの有形固定資産の取得
による支出は検収された設備等の資金が実
際に支払われた時点での金額となり、差異
が生じる



2025年3月期決算の通期業績予想

2025年3月期 連結業績予想



売上高は前期比15.7%の増収となる50,000百万円、
営業利益は前期比147.3%の増益となる2,100百万円を予想

単位：百万円

	2024年3月期		2025年3月期		前期比	
	実績	利益率	業績予想	利益率	増減額	増減率
売上高	43,231	-	50,000	—	6,769	+15.7%
営業利益	849	2.0%	2,100	4.2%	1,251	+147.3%
経常利益	1,573	3.6%	2,200	4.4%	627	+39.9%
当期純利益	999	2.3%	1,000	2.0%	1	+0.1%
1株当たり配当	中間	30円	—	40円	0円	+0.0%
	期末	50円※	—	40円		

※特別配当15円を含む

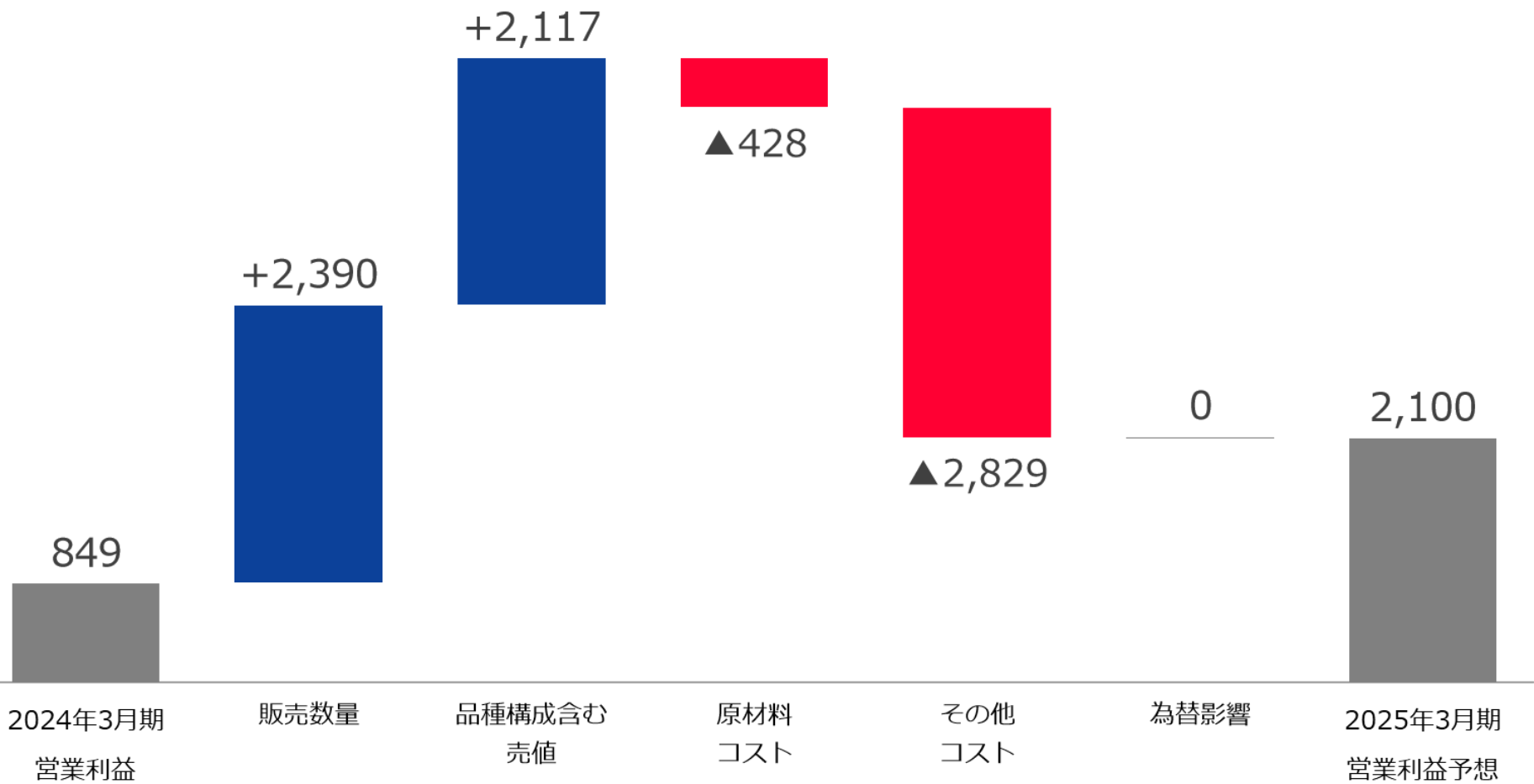
2025年3月期は年間普通配当80円を予定
株主還元方針は、配当性向30%以上を目途に安定配当の継続を目指す

営業利益増減要因分析 2024年3月期v.s.2025年3月期



前期比 1,251百万円増益

単位：百万円



セグメント別 事業見通し



電子・機能製品	機能化学品	+ 半導体及び電子部品市況回復により、出荷が増加
	機能樹脂	+ 中国市場での拡販により、光学関連分野向け粘・接着剤の出荷が増加
	電子素材	+ 半導体及び電子部品市況回復により、出荷が増加
フィルム・シート製品	フィルム	+ 引き続き世界的な自動車生産台数の回復により、次世代高機能フィルムの出荷が増加
	ステッカー	+ インドネシアでの二輪車生産台数の増加により、二輪車向け製品の出荷が増加
	再帰反射シート	+ 引き続き世界的な自動車販売台数回復により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加
建材関連	- アルミ地金価格の高騰により原材料コストが上昇	
エンジニアリング	+ 大型工事案件の完工により、売上が増加	

セグメント別 業績予想



単位：百万円

		2024年3月期	2025年3月期	前期比	
		実績	業績予想	増減額	増減比
電子・機能製品	売上高	16,545	19,100	2,555	+15.4%
	営業利益	643	1,100	457	+71.1%
フィルム・シート製品	売上高	17,498	20,000	2,502	+14.3%
	営業利益	655	1,400	745	+113.7%
建材関連	売上高	7,112	7,400	288	+4.0%
	営業利益	272	50	▲ 222	▲81.6%
エンジニアリング	売上高	2,491	4,000	1,509	+60.6%
	営業利益	▲ 136	280	416	-
連結調整	売上高	▲ 416	▲ 500	▲ 84	-
	営業利益	▲ 586	▲ 730	▲ 144	-
連結合計	売上高	43,231	50,000	6,769	+15.7%
	営業利益	849	2,100	1,251	+147.3%



中期経営計画「NCIキラリ2025」進捗状況

進捗状況 財務目標



主要課題への対応を確実に実行していくことで、2024年度の業績予想の達成と成長軌道への回帰を図るが、市況回復時期等により、2025年度財務目標達成は遅延する可能性あり

D/Eレシオ

単位：倍



ROE



売上高

単位：億円



営業利益



2022年度実績

2023年度実績

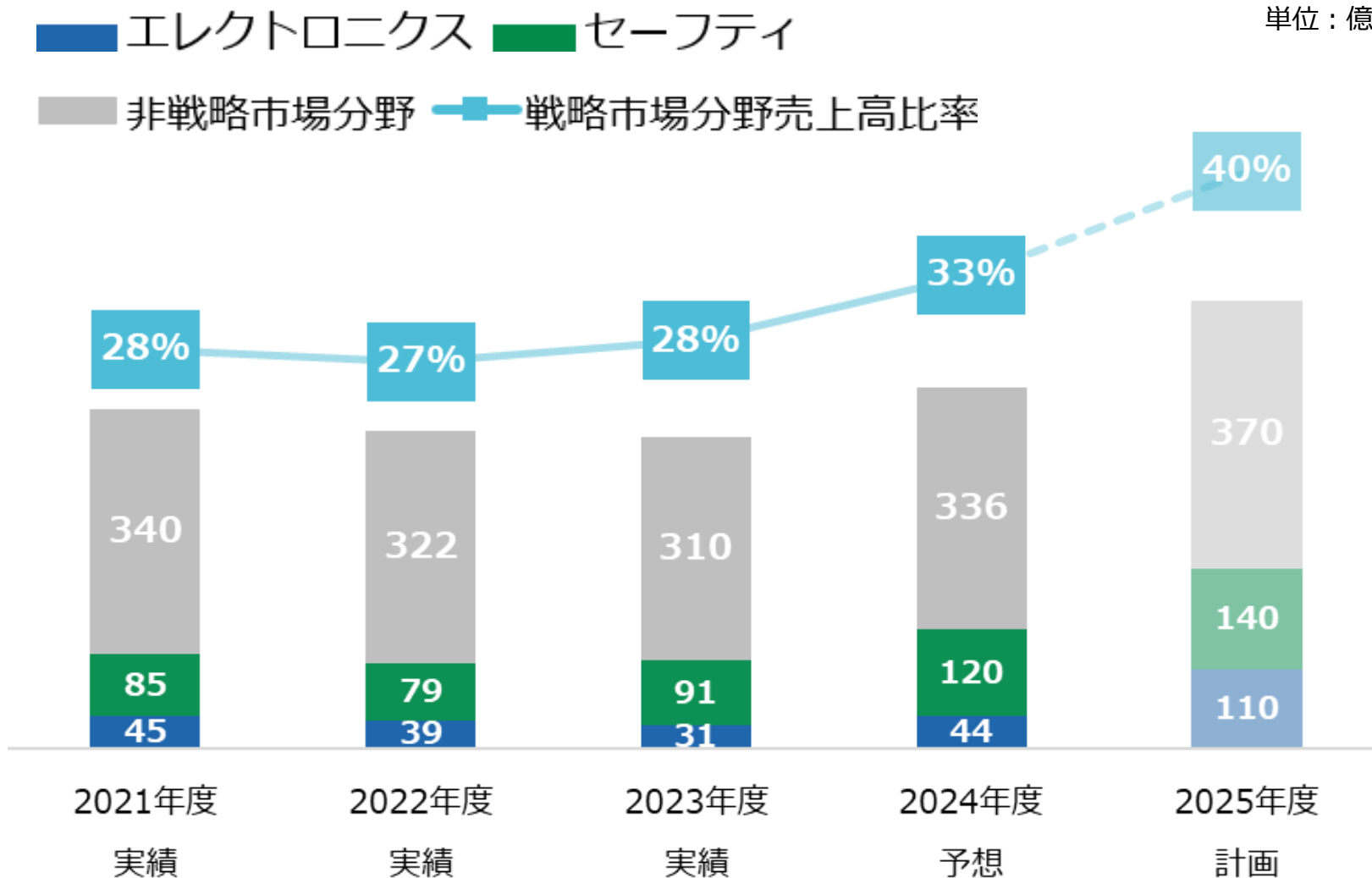
2024年度予想

2025年度計画

進捗状況 戦略市場分野 売上高



単位：億円



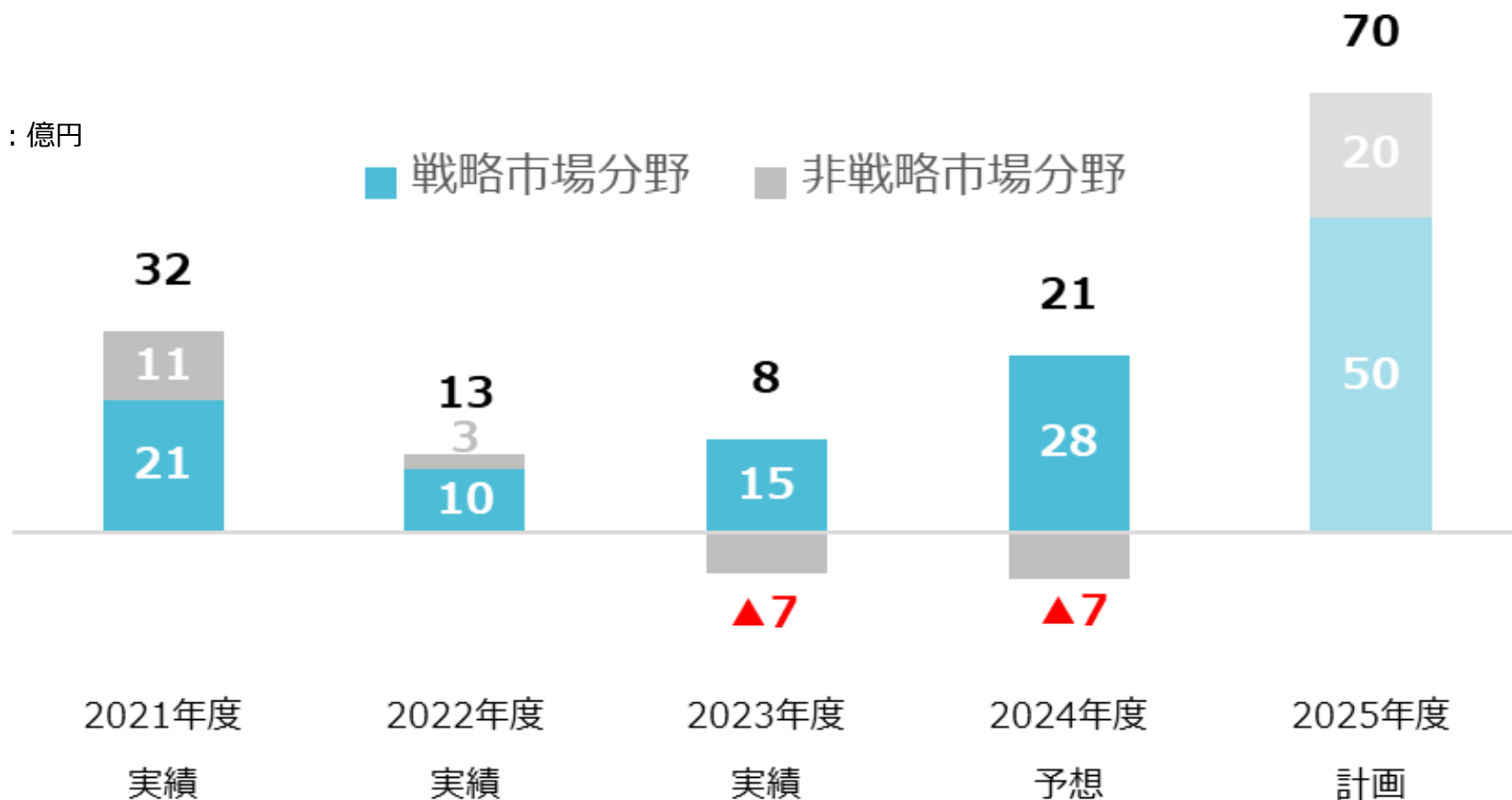
進捗状況 戦略市場分野 営業利益



2024年度の戦略市場分野での営業利益は28億円と予想

2025年度の営業利益目標達成のポイントは、①戦略市場分野での営業利益の更なる拡大と②非戦略市場分野の体質強化による業績改善

単位：億円

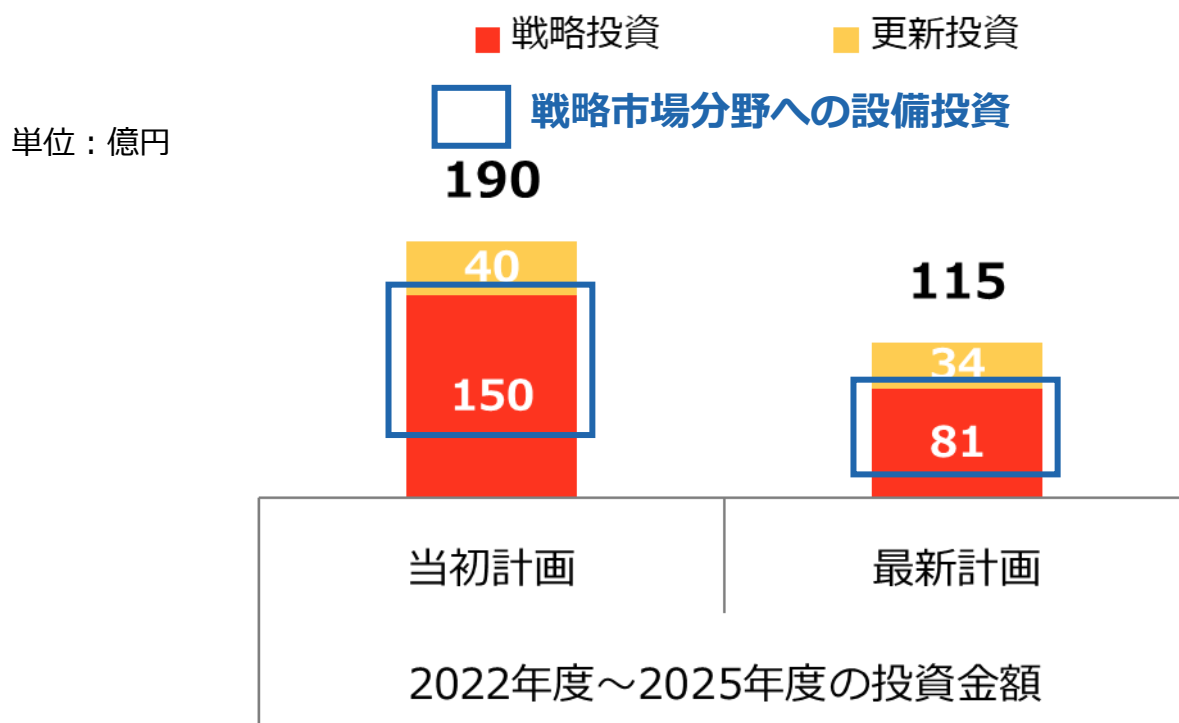


主要課題と対応



セグメント	分野	主要課題	2025年度に向けた対応
電子・機能製品	戦略市場分野	- 半導体材料用化学品を中心とした高付加価値品の拡販 - 中国市場での半導体用金型クリーニング材などの拡販	- お客様との技術交流による新たなニーズの発掘 - 中国拠点でのお客様サポート体制強化による市場拡大への対応
	非戦略市場分野	中国市場での光学用粘着剤などの拡販	国内での研究開発バックアップ体制と中国でのテクニカルサービスの強化
フィルム・シート製品	戦略市場分野	- 次世代高機能フィルムでの新規ビジネス拡大 - 日本市場でのナンバープレート向け製品の拡販	- 多層広幅フィルム製造設備による自動車や二輪車、エレクトロニクス分野向け高機能製品の市場投入 - ナンバープレート向け製品の品質向上と安定供給
	非戦略市場分野	米国でのグラフィック市場向け反射シートの拡販	- 大手ディストリビューターとの連携 - 粘着性能の向上による多様な基材への対応
建材関連	戦略市場分野	超高層ビル向け高強度高機能手すりの拡販	高層階での高い安全性を有する製品設計を武器に差別化
	非戦略市場分野	- EV車用カーポート製品の拡販 - LED照明製品(手すり・笠木)の店舗・商業施設などへの拡販	お客様ニーズの探求による製品の高付加価値化
エンジニアリング	戦略市場分野	カーボンニュートラルトランジションでの事業機会獲得によるビジネス拡大	長年培った粉体搬送技術を武器にお客様ニーズへの対応推進
	非戦略市場分野	EPC事業(Engineering:設計 Procurement:調達 Construction:建設の3工程を一貫して引き受ける事業)の拡大	施設内常駐によるお客様との協力関係強化

エレクトロニクス戦略市場関連を中心とした事業環境の変化に伴い、
設備投資計画の見直しを実施



主な設備投資削減案件

- 半導体及び電子部品向け製品の設備投資
- 反射シート製品関連の設備投資
- 建材関連向け製品の設備投資

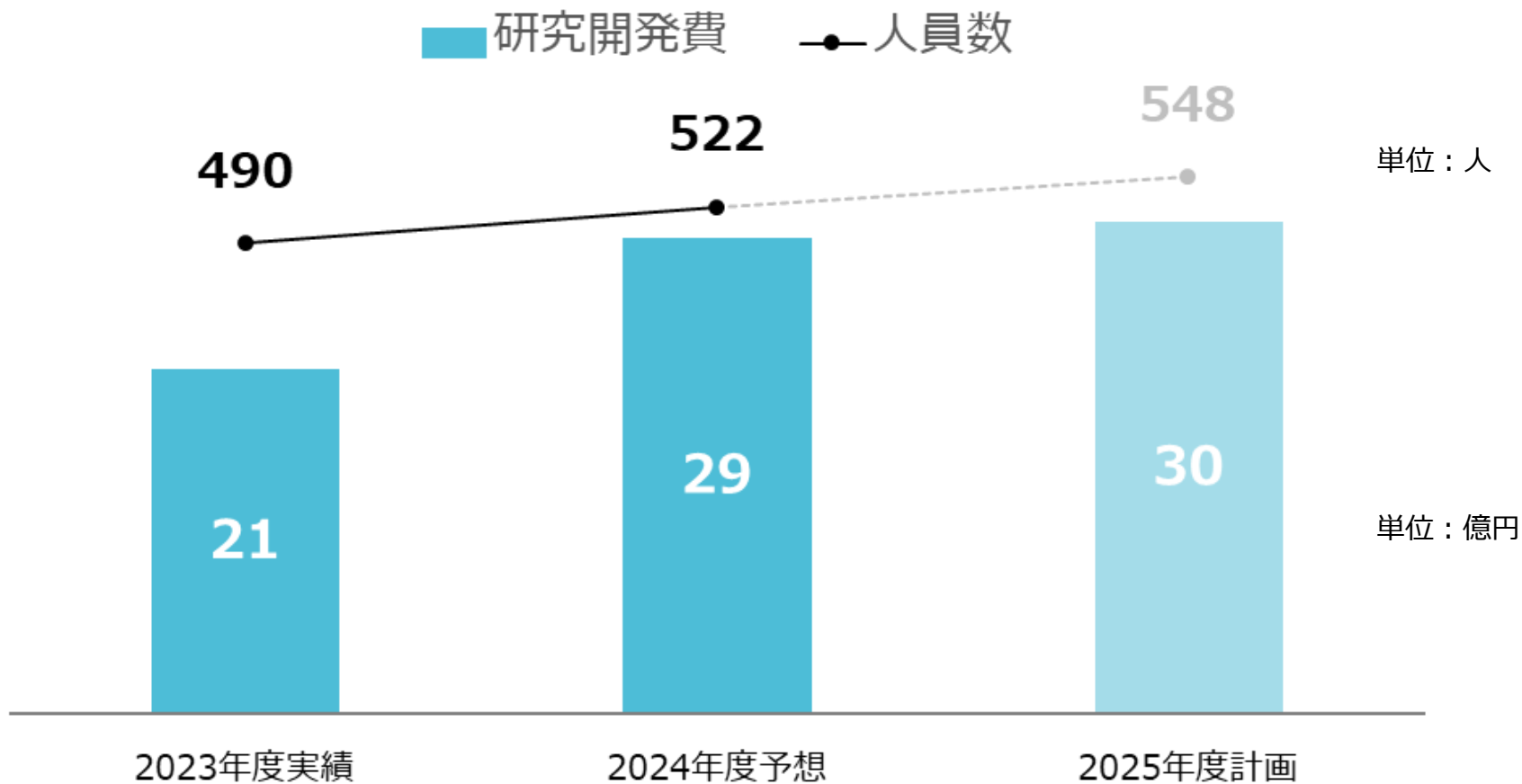
戦略市場分野
への設備投資

110億円

78億円



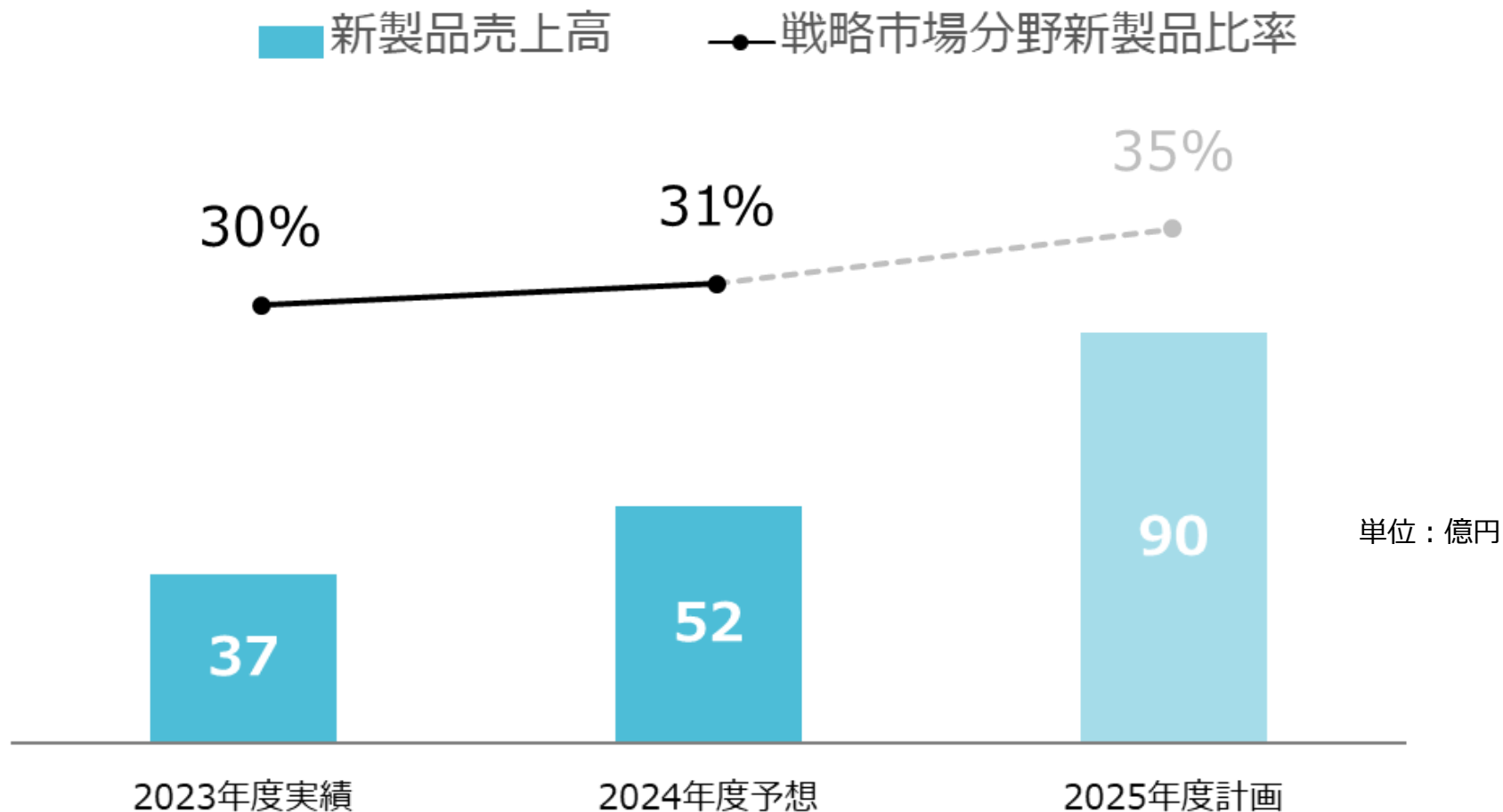
研究開発費および研究開発人員ともに増加する計画



新製品売上高比率



戦略市場分野での新製品売上高比率は2023年度30%（37億円）の実績
2024年度は31%（52億円）、2025年度で35%以上（90億円）を目指す





資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応



PBR改善に向けた取り組み①

PBRの改善が重要な経営課題と認識、ROEとPERの両面より施策を推進

PBR

=

ROE

×

PER

2023年3月期PBR0.4から2024年3月期は0.54に改善

ROE

- 戦略市場分野における成長ドライバーの拡販や新たな成長ドライバーの創出による事業成長
- 収益性の低い基盤事業の体質強化
- 政策保有株式等の資産売却やグループ会社での余剰資金活用による資金効率化
⇒政策保有株式売却5億円、グループ会社余剰資金5億円を戦略投資等に活用
- 健全な財務体質を維持しつつ、必要性に応じた有利子負債の活用検討
- 株主還元
 - ・ 配当性向30%以上を目途に安定配当の継続実施
⇒2023年度普通配当65円に加え、特別配当15円
 - ・ 自己株取得の実施
⇒2024年2月7日開催の取締役会決議に基づき2月8日～3月19日に総額2億円の取得

PBR改善に向けた取組み②



PBRの改善が重要な経営課題と認識、ROEとPERの両面より施策を推進

PBR

=

ROE

×

PER

2023年3月期PBR0.4から2024年3月期は0.54に改善

PER

- 戦略市場分野における成長ドライバーの拡販や新たな成長ドライバーの創出による事業成長
- 収益性の低い基盤事業の体質強化
- サステナビリティ経営の推進
 - ・ 太陽光発電等による再生可能エネルギーの利用促進
 - ・ エンジニアリング事業を通じたカーボンニュートラルへの貢献
 - ・ ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンを意識した人的資本への投資



TOPICS



環境対応加飾成形品の開発・販売

金属調の光沢を持つ3Dエンブレムは、当社の環境対応加飾成形品の1つです。さらに“光を操る”技術で、これまで世の中になかった新製品を開発しました。自動車や二輪車などに使用されます。

● 内照発光式3Dソフトエンブレム



点灯前。金属調の外観により高級感を演出



暗いところで点灯すると、内側から発光

● 再帰反射3Dソフトエンブレム



光が当たっていない状態



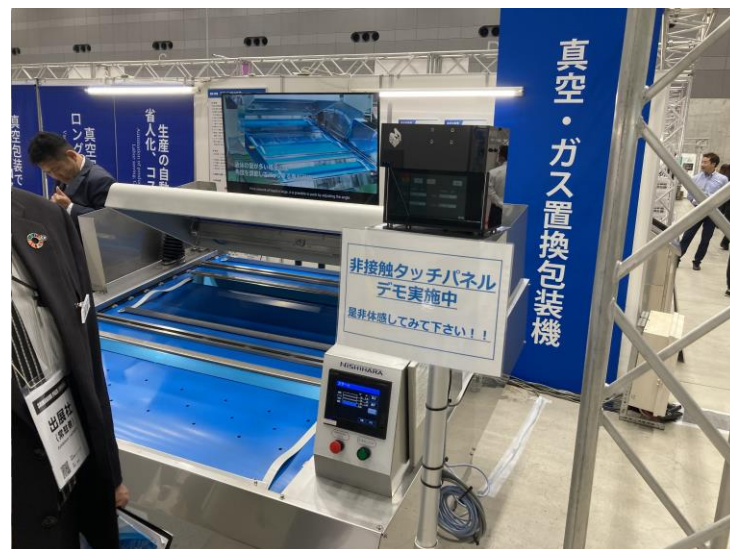
光を当てると、入射した光が入射方向に帰り（再帰反射）視認性が高まる



非接触操作装置を搭載した西原製作所の真空包装機

当社の非接触操作装置「M-Beamer™」が株式会社西原製作所の真空包装機に採用される予定です。操作パネルが空中に浮かんで表示されるため、作業者は手袋などを着用したまま、操作パネルに直接触れることなく機械を操作することができます。

非接触操作装置を搭載した真空包装機は、食品業界に関わる包装・関連資材・設備・機器・システム・サービスの専門展示会「しまなみパック2023」でお披露目されました（写真）。





付属資料

連結業績の推移

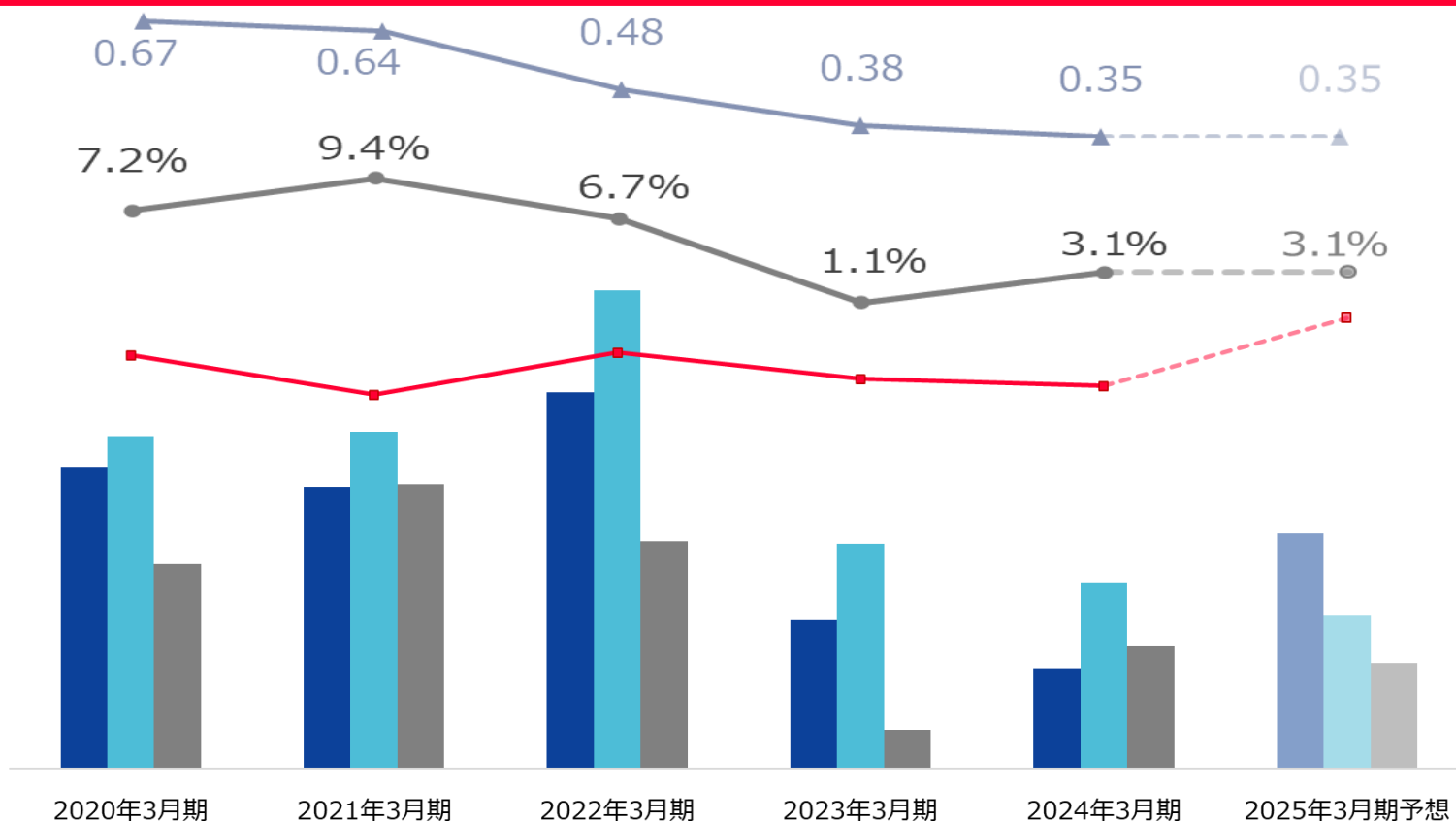


D/Eレシオ

単位：倍

ROE

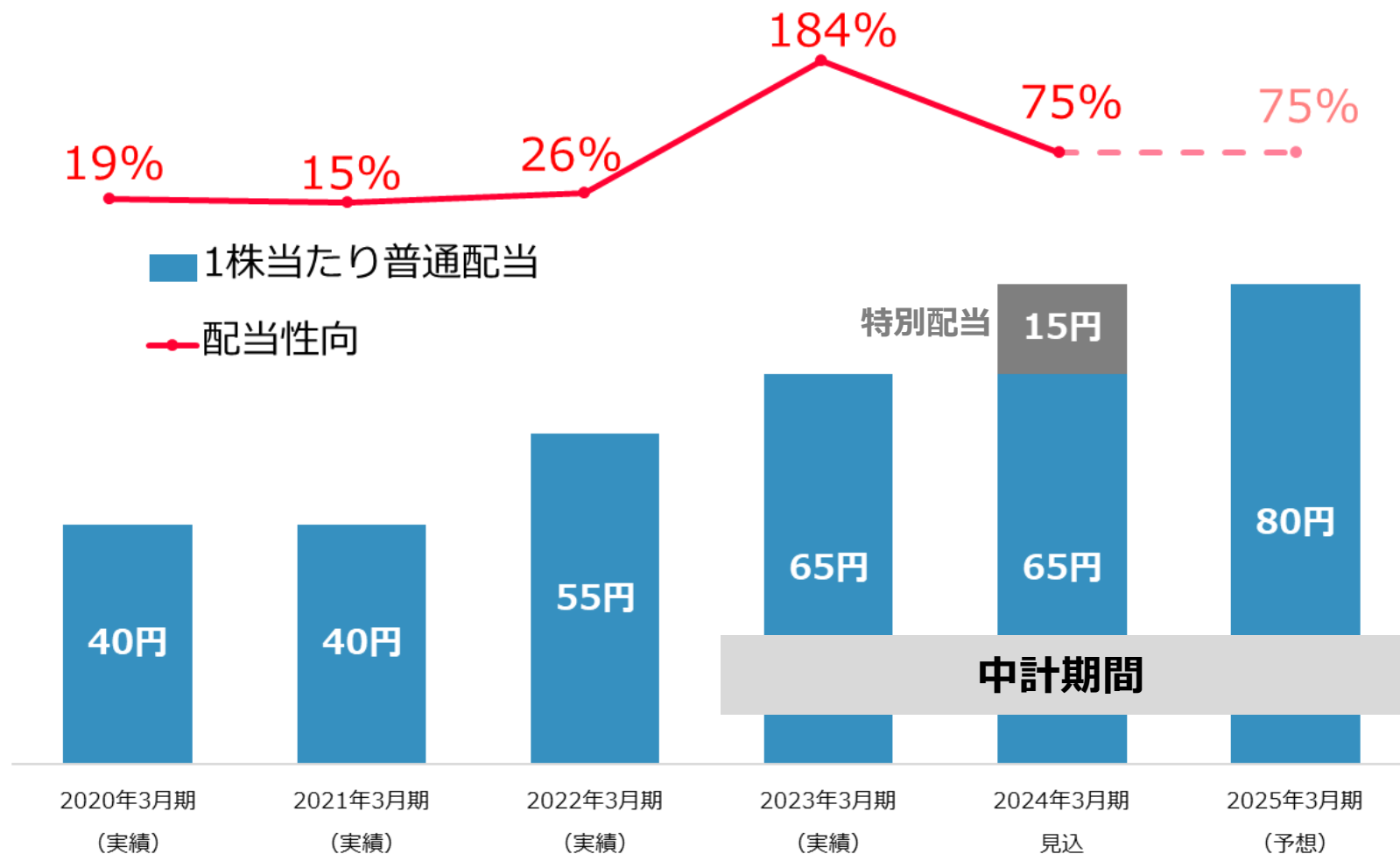
営業利益
経常利益
当期純利益
売上高



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想
売上高	46,699	42,231	47,003	44,008	43,231	50,000
営業利益	2,557	2,388	3,192	1,261	849	2,100
営業利益%	5.5%	5.7%	6.8%	2.9%	2.0%	4.2%
経常利益	2,817	2,852	4,055	1,902	1,573	2,200
経常利益%	6.0%	6.8%	8.6%	4.3%	3.6%	4.4%
当期純利益	1,741	2,406	1,930	332	999	1,000



配当性向30%以上を目途に、安定配当の継続を目指す



機関投資家の皆様からのご質問・お問い合わせ先

日本カーバイド工業株式会社

経営企画部 広報・IRグループ

メールにてお問い合わせください
prir@carbide.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えないものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。